

令和3年度 地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史B | 単位数 | 2単位 | 年次 | 3年次 |
|-------|-------------------|----|------|-----|-----|----|-----|
| 使用教科書 | 「日本史B 新訂版」(実教出版) | | | | | | |
| 副教材等 | 図説日本史通覧(株式会社帝国書院) | | | | | | |

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

講義形式の授業を中心にしながらも、教科書や史料から問題を解いたり、プロジェクターの使用やDVDなど視聴覚教材も利用し、授業への興味関心を高めていく。一方通行の講義形式にならないように注意する

2. 学習の到達目標

原始時代、古代国家の社会や文化の特色を学び、歴史・文化に対する興味と関心を高める。武家政権成立という我が国の歴史的過程を政治面だけではなく、公家勢力や旧仏教勢力が担っていた生活や文化の特色にも着目し、さらに地域的な特色にも理解と知識を深め、国際社会を主体的に生きる、民主的な社会の一員としての自覚を養う

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a: 関心・意欲・態度 | b: 思考・判断・表現 | c: 資料活用の技能 | d: 知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観 点 の 趣 旨 | ダイナミックに変化する歴史展開に対して関心と意識を高め、国際社会にかかわり、主体的に生きる人としての責任を果たそうとする態度をはぐくむ | 歴史の展開からそれぞれが課題を見だし、世界史的視野を忘れず、我が国の文化・伝統の認識を深め、多角的な考察からの発表ができること | 当時の諸史料に親しみ、活用することで、政権が目差した意図を理解するとともに、庶民の考え。行動を考察する | 古代から近代への我が国歴史の展開を、アジア・欧米など世界史的視野から総合的に理解し知識を深める |
| 評 価 方 法 | 授業中の発言や質問、課題への積極的な取り組み姿勢(ノートやプリントの積極的な提出) | 文章表現能力の確認(考査における論述や発表会における相互評価など点数化する) | 発表における文献、絵画、地図などの資料の適切な活用を相互評価とともに、担当者による点数評価をおこなう。 | 課題や小テスト、定期考査などにおいて知識定着を確認、点数化によって評価する。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

4. 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|----|-------|-------------------|---------|---|---|---|---|--|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1 | 原始・古代 | 日本文化のあけぼの | ○ | | ○ | | a: 原始・古代の日本社会の成り立ちを理解し、原始・古代から中世への変遷に関心を持ち、意欲的に授業に集中し、史料に接している b: 日本の歴史をアジアの動きとの関連も考え、多面的多角的に考察している c: 諸史料を読みこなし、有用な情報を選択して、自分でまとめる d: 時代の変化を、基本的な事項を理解し、世界の動きと関連して理解し、その知識を身につけているか | 定期考査 ノート・プリント 課題提出 授業中の発問への答え |
| | | 水稻農業の開始と社会生活の進展 | ○ | ○ | | ○ | | |
| | | 東アジア文化の影響と律令制度の成立 | ○ | ○ | | ○ | | |
| | 中世 | 摂関政治と国風文化文化 | ○ | | ○ | ○ | | |
| 2 | 中世 | 中世社会の成立と文化の新機運 | ○ | ○ | | ○ | a: アジア地域との関係と成長する庶民を中心とした国内の動き、新しい国際関係を意欲的に考察しているか b: ヨーロッパとの出会いと影響との関係を考え、多面的多角的に考察する c: 史料・文化の特徴などから、探したい情報を選択し、自分でまとめる d: 世界の動きとの関係を理解し、鎖国などの対外政策の意味を深く考え、知識を深める | 定期考査 ノート・プリント 課題提出 授業中の発問への答え |
| | | 武家社会の展開と室町文化 | ○ | ○ | ○ | | | |
| | | 幕藩体制の展開と近世の文化 | ○ | ○ | | ○ | | |
| | 近世 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|----|---------------|---|---|---|---|--|
| 3 | 近世 | 幕藩体制の動揺と文化の成熟 | ○ | ○ | ○ | a: 江戸期の文化の発展と海外の動き、それに巻き込まれる日本に関心を持ち考察する b: 鎖国政策の影響を多面的多角的に考察する c: 文化にこめられた庶民の思いを史料から考察し、江戸庶民の生き様を整理して理解する d: 開国前の江戸期の社会を多面的に理解し知識を深める | 定期考査 ノート・プリント 課題提出 授業中の発問への答え |
|---|----|---------------|---|---|---|---|--|

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 資料活用 of 技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。